# ふっれ。あ い・ひ・3

## 西多久太鼓浮立保存会

▼七郎神社祇園祭にむけて練習に励むみなさん



#### 五穀豊穣 無病息災を願い演奏!

『西多久太鼓浮立保存会』は、昭和60年に戦後途絶え ていた郷土の伝承芸能「西多久太鼓浮立 |を復活しようと、 西多久町の有志で立ち上げ現在まで活動を続けています。 9月15日の七郎神社の祇園祭に五穀豊穣と無病息災を願 い太鼓浮立を奉納することが主な活動ですが、西多久ふれ あいまつりや観月会、昨年は多久まつりでも披露しました。

会員は13人。毎週水曜日午後8時から西多久公民館で 練習を重ねていますが、消防団の会員も多く、8~9月 の練習は消防団の練習が終わってから午後9時からの日 もあります。祇園祭の2週間程前は、毎日練習をして当 日に備えます。

会長の二重さんは「笛と太鼓の息が合ったときは気持 ちがいいです。町民の健康と繁栄を願い、太鼓浮立を伝 承していくという使命感をもって続けています! と話し ます。保存会では西部小の子どもたちへ指導し、5・6年 生が七郎神社や6年生を送る会で太鼓浮立を演奏してく れることは嬉しいことです。

問 西多久公民館 ☎75-2205

## ●連載17● 郷土資料館で学ぶ多久の歴史

### み いち びょうざん 大塚巳ーと「廟山文庫」

多久市先覚者資料館1号展示室には、儒学関連の 書籍コレクション「廟山文庫」が収蔵展示されてい ます。1,500件におよぶ廟山文庫の中には、『論語』 をはじめ四書五経、聖廟の儀礼などを記した聖廟類、 孔子の生涯を絵で紹介した『聖蹟図』など貴重な書 籍が多く含まれています。

私財を投じ、これらの書籍を集めたのが多久町の 大塚巳一 (明治2~昭和25) です。「廟山」とは巳一 の号で、彼は自らの書庫を「廟山書屋」と呼び、学 問に取り組んでいました。当時、多久に居ながらこ のような貴重な本を集めることは大変な苦労があり ましたが、家族の献身的な協力を得てコレクション が形作られていったのです。

巳一は「多久最後の漢学者」といわれ、多久聖廟 の保存にも尽力しました。先覚者資料館では、巳一



の遺品や肖像画な ども展示していま す。郷土の文化を 守り伝えた先人の 生涯に触れてみま せんか。

▲先覚者資料館の廟山文庫展示室

## 多久市郷土資料館・先覚者資料館

開館時間 / 9 時~16時 入館 / 無料 休館日 / 月曜日(月曜が休日の場合は開館し翌火曜休館)

■問い合わせ 多久市郷土資料館 **☎**75-3002

m F の ٤ h メン流 ر ص 柳 なって納得する ぢ L ち 涼をお箸が んは 手に団大 塚

髪を梳す そこはかと 徘 庇に き出す 流 の 旬 真夏の太陽 小さ 鏡 ŧ 古き句ひの での の中の 決心 社ら 梅雨 夏椿 眩 炎天下 あざみ句会 夏 大石ひろ 選

侘びしさは 空と 生 が 屋と 庭 良き・・ 季め 渾名の政治家 は南 育 艮きことあるがにを纏ひて 歩く道 ぼ日 う 7 るるば 毎に 小 人心を 紫におう ŋ さき て 老 梅 森 又も揺さ振 世直 の 雨の 大輪 は あ 山しを村心の弾 輪のど まり てゆ 渕 シチりぬ 則む



互選